



みんないっしょに たのしもう



「みんなで楽しいことをしたいんです。」

そう熱く語ってくれたのは、計画委員会の子供たちでした。

コロナ禍といわれる3～4年間、子供たちはいろいろな制限のあるなかで学校生活を送ってきました。昨年5月に新型コロナウイルスは5類になり、世の中はこれまでどおりになりつつあります。本校も給食の座席配置以外は、制限なく教育活動を行えるようになりました。

給食以外に制限はない。6年生は3月15日に卒業を迎える。今ならできる。今しかない。ないものは創ればいい。そのような思いをもち、5・6年の計画委員会の子供たちが計画し、2月1日（木）のロング昼休みに「南小ふれあい集会」を実施しました。

～計画委員会委員長あいさつより～

私たち計画委員会は、全校児童みんなが集まり、一緒に何かをすることが少ないと感じていました。それならば、全校児童がみんなで一緒に集まって、楽しく遊ぶ集会を私たち計画委員会が企画すればいいのではないかということになりました。

計画委員会みんなでいろいろ考えて、1年生から6年生が楽しめる集会になるよう準備しました。みんなで仲良く、楽しい時間にできたらいいと思います。

集会は、「この人は誰先生？クイズ」からスタートしました。後ろ姿の画像で「これは誰先生？」、スニーカーの画像で「これは誰先生の？」と、南小ならではのクイズが出題されました。日頃の観察力を試すクイズで、大変盛り上がりしました。

次は、前もって出題されていた課題「オリエンテーリング」の正解発表でした。自分の学年が書かれたカードの文字を学校のあちこちで探し、つなぎ合わせ、ある単語をつくるというもの。その時だけでは終わらない新しい企画でした。

そして、「猛獣狩りに行こうよ」です。「猛獣狩りに行こうよ♪」の掛け声で始まり、出てくる動物の名前の文字数と同じ人数でグループを作って座るといったもの。歌ったり踊ったり、学年関係なくグループを作ったりしました。



最後は、南小ふれあい集会を実施してくれた委員に対して、大きな拍手がおくれました。

自分たちで考え、動き、動かす。そして、みんなで楽しむ。

体育館は、たくさんの笑顔でいっぱいになりました。



学校改善プロジェクト



「こうだったらいいな」「こうしたい」「これはどうだろう」という児童・教職員・保護者の皆さまから寄せられた声をもとに、教員が教育課程、学力向上、特別活動、生徒指導の4つのチームに分かれ、熱い議論を重ねています。検討内容は、登校から下校までの日課、学習用具、学校行事など、多岐にわたります

決定事項（変更事項）につきましては、今年度末・新年度始にお伝えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



県芸術祭入選作品展示

2月1日（木）～2月5日（月）の4日間、職員室前において、茨城県小中学校芸術祭入選作品を展示しています。展示されているのは、市内小中学校児童生徒の習字11点と絵画・版画12点です。

足を止めて見入る子供たちが多く、関心の高さがうかがえます。素晴らしい作品にふれ、心が動く経験を。